

《 2023 年度 社会貢献活動 》

(1) 地域研究

沖縄大学では、研究者個人の研究のほか、全学的な全学研究プロジェクトや地域研究所の共同研究班活動に取り組んでいます。

地域研究所は、地域の課題に対し学内所員が学際的研究に取り組むことを本務に1988年に設立されました。現場に根ざした学外の研究者に地域研究所の活動に参加していただく委嘱研究員制度を設け、2023年度は74人の方々に特別研究員を担っていただきました。

① 全学研究プロジェクト

地域共創・未来共創の大学理念を具体化する全学的な地域研究を推進し、大学の特色化を強め、沖縄大学が地域と共にある大学として発展する礎とすることを目的に実施しています。

<2023 年度の取り組み>

年数	研究名	概要	構成員(★代表)	
			学内教員	その他
2	地域共創形成プロジェクト —那覇市真和志南地区との「観光フットパス」共同作成を通じて—	本学周辺地域の歴史、文化等を堪能できる観光フットパスを、地域住民、本学学生・教職員など背景の異なる者達が共同作成することを通じて、地域の持つ魅力を再発見、発信しながら交流できる仕組みを構築する。	★伊藤丈志 嘉数健悟 前田舟子	那覇市人材育成支援センター まーいまーい Naha
2	島コショウの6次産業化による地域づくり —香り高き「沖大ピィパーズ(仮称)」の商品開発を起点とするコレクティブ・インパクトを目指して—	香り高いピィパーズの製法を研究し標準化に取り組むとともに、地域で多様な人々が関わりうる生産から販売までのワーキングネットを構築することにより、地域共創型6次産業化商品という新たな価値を社会に提示する。	★宮良恵美 酒井由希子 盛口 満	新垣慶子 外間杏花 山門健一 後藤哲志 沖縄県ピィパーズ生産推進協議会
1	沖縄大学「いのちの未来の平和学」プロジェクト	2022年2月末のウクライナ戦争から始まった国際秩序の揺らぎもあり、沖縄大学が「平和と反戦」を強く発信していくような流れを作っていく、〈学び舎〉として平和教育を実践していくことを目的としている。沖縄大学の有志が集まって月一回のペースで地域市民の方々にも門戸を広げ、「戦争と平和」「人類と人権」「非暴力と自由」「差別と不寛容」「本当の意味でのSDGsなどについてのフォーラムやワークショップを企画運営して、沖縄大学から「平和と反戦」の実践活動を発信していく。	★西 章 山代 寛 吉川麻衣子 須藤義人	浜川智久仁 兼島 徹 具志堅隆松

② 地域研究所共同研究

琉球及びアジア地域の社会・文化・自然環境等に関する調査・研究を行うことにより、優れた研究成果を創出し、地域社会に役立てられることを目的に実施しています。

<2023 年度の取り組み>

年数	研究名	概要	共同研究者(★代表)	
			所員	特別研究員
3	こどもと自然 離島地域における教育環境と大学の関わり	地理的不利な離島においては、教育の手段も制限され、学校教育以外の出会いの場(教的な場)も少ない。研究班では大学による出前授業を実施することにより、地理的に不利な教育環境をどの様に補完できるかを考える。また、こうした取り組みを持続的に実施するための課題と解決策を探る。	★盛口 満 喜屋武政勝 上原周子	後藤亜樹
2	沖縄県を中心にした「自然災害」と地理学・栄養学・労働法・基地問題・社会福祉の交錯にかかわる総合的研究	沖縄本島および離島をベースにしながら、様々な災害概念を対象として幅広く地域研究を行い、「自然災害」と地理学・栄養学・労働法・基地問題・社会福祉の交錯にかかわる文理融合の学際的・総合的研究を進めていく。	★糸数 哲 國仲小織	春田吉備彦 河合 墨 稲垣 暁
2	日本の周縁地域における「まち・ひと・しごと創生」と観光振興	多様なアクターの参加によって実施されている日本の周縁地域における地域活性化の実相を「まち・ひと・しごと創生」と関連付けられた施策—特に観光振興—の分析を通して多面的に明らかにすることを目的としている。	★島田尚徳 豊川明佳	
1	沖縄の家族観・死生観にみる臓器提供に関する法と政策 —より多くの命を救うために—	我が国で独自性を有する沖縄の家族観・死生観が、臓器提供の際に与える影響を調査した上で、ドナー不足により救えない命があるという課題を、沖縄の地域性からいかに解決していくか、法的・政策的観点から考察する。	★富山侑美 島田尚徳	
1	戦後沖縄の相談員をめぐる仕事と労働に関する基礎的研究	戦後沖縄の相談員をめぐる仕事や労働に関わる諸問題にジェンダーと人的資源管理の視点から取り組むことで、学際・実践的労働問題解決ネットワークを構築、沖縄の相談員の仕事・労働に関わる課題や可能性を開示する。	★成定洋子 島袋隆志	仲村宮子 棚原美菜子
1	沖縄における地域史とオーラルヒストリーの方法 —戦後史研究の実践から問い直す—	沖縄戦後史研究では、オーラルヒストリーの方法と実践に対する学術的検証は未だ十分とはいえない。本研究では、オーラルヒストリーの実践を通じて研究史を再検証しつつ、地域史の新たな方法を探究する。	★若林千代 我部 聖	謝花直美 親川裕子 居原田 遙

1	食品ロス削減食育研究 —食べる力、生きる力、取 り組む力—	従来の食育の概念「食べる力、生きる力」に加え、食品ロス削減に「取り組む力」を養えるような効果的な食育方法を開発することを目的とし聞き取り調査等を行う。開発したツールを用い食育を行うと共に食品ロスに対する意識調査や健康に関する身体的調査あるいは健康意識調査を計画する。	★下地みさ 子 又吉哲太郎 國本あゆみ	叶内宏明 逸見幾代
---	-------------------------------------	---	------------------------------	--------------

(2) 地域研究活動の経過・成果

地域研究活動の経過や成果を発表し、地域にも研究活動自体にもフィードバックが得られるような取り組みを目指しています。

① 地域研究公開講座

地域共創・未来共創を謳う本学の特色化に取り組む地域研究（沖縄大学全学研究プロジェクト）や地域の課題に対し役に立とうとする地域研究（地域研究所共同研究）を学内外に紹介しています。沖縄大学憲章にある「地球市民・地域市民の共育」「地球環境・地域環境に貢献する教育研究」「共創力を育む大学教育への変革」に資する地域貢献活動となるよう、本学の地域研究活動をより地域に開かれたものとしていくことを目的に実施しています。

<2023 年度の取り組み>

No.	開催日	研究代表者 (所属学科)	研究名	参加者
1	6/21(水) 16:30～ 17:30	伊藤丈志 (国際コミュニケーション学科)	地域共創形成プロジェクト —那覇市真和志南地区との「観光フットパス」 共同作成を通じて—	22 名
2	9/19(火) 16:00～ 17:30	糸数 哲 (経法商学科)	沖縄県を中心にした「自然災害」と地理学・栄養学・労働法・基地問題・社会福祉の交錯にかかわる総合的研究	31 名
3	10/11(水) 16:00～ 17:30	西 章 (福祉文化学科)	沖縄大学「いのちの未来の平和学」プロジェクト	37 名
4	10/31(火) 16:30～ 17:30	島田尚徳 (経法商学科)	日本の周縁地域における「まち ひと しごと創生」と 観光振興	14 名
5	11/15(水) 19:00～20: 00	盛口 満 (こども文化学科)	こどもと自然 —離島地域における教育環境と大学の関わり—	28 名
6	12/14(木) 17:00～ 18:00	富山侑美 (経法商学科)	沖縄の家族観・死生観にみる臓器提供に関する法と政策 —より多くの命を救うために—	22 名
7	1/24(水) 17:30～ 19:00	宮良恵美 (管理栄養学科)	島ゴショウの 6 次産業化による地域づくり —香り高き「沖大ビィパーズ(仮称)」の商品開発を 起点とするコレクティブ・インパクトを目指して—	30 名

8	1/31(水) 18:00～ 19:30	下地みさ子 (管理栄養学科)	食品ロス削減食育研究:食べる力、生きる力、取り組む力	16名
9	2/1(木) 15:00～ 16:00	若林 千代 (経法商学科)	沖縄における地域史とオーラルヒストリーの方法 —戦後史研究の実践から問い直す—	47名
10	2/27(火) 13:00～ 14:00	成定洋子 (経法商学科)	戦後沖縄の相談員をめぐる仕事と労働に関する基礎的 研究	30名

② 地域研究所紀要『地域研究』

地域研究所の所員及び特別研究員が地域研究活動の経過や成果を発表する紀要を発行しています。2023年度は、論文4編、研究ノート5報、実践研究報告1報、調査報告3報を掲載した第31号を発行しました。

(3) 地域共創

沖縄大学の理念「地域共創・未来共創の大学へ」に向けて、学部生・院生のフィールドワークや地域に開かれた土曜教養講座、自治体等との連携事業を推進しています。

① 琉球弧研究支援プロジェクト

「地域共創・未来共創」に取り組む学部生や院生を応援する試みとして、琉球弧をフィールドとした研究や実践活動を推進しています。教員のアドバイスと活動費の補助を行っています。

<2023年度の取り組み>

No.	学科	代表者	研究・実践テーマ	指導教員
1	経法商学科 (3年次)	仲間功也	琉球舞踊古典女踊における髪飾りの研究	島袋隆志
2	こども文化学科 (3年次)	城間 陸	石垣島の子どもたちへの環境教育実践	盛口 満
3	こども文化学科 (3年次)	真境名 華	学習前の活動と記憶力向上との繋がりについて	松尾理沙
4	国際コミュニケーション 学科 (3年次)	新垣美琉	沖縄の伝統陶芸や文化遺跡に潜む 琉球と朝鮮の文化的交流について	洪 玗伸
5	国際コミュニケーション 学科 (3年次)	金城美紀	沖縄戦をめぐる海外出身者の慰霊形態分析 —沖縄県内、離島の慰霊碑を中心に—	
6	管理栄養学科 (4年次)	大嶺楓葉	島野菜と生活習慣病の関連性について	荒木裕子
7	管理栄養学科 (4年次)	島袋涼佳	若い世代への琉球料理の継承について	

8	管理栄養学科 (4年次)	末吉 萌	地場野菜を用いたスイーツの考案および 野菜の情報提供が大学生の食意識に与える影響
9	管理栄養学科 (4年次)	大庭利々香	琉球料理の伝承方法の比較
10	管理栄養学科 (4年次)	仲宗根和奏	大学生における伝統的農産物の認知および 食体験について
11	管理栄養学科 (4年次)	高良みく	小学6年生における琉球料理および島野菜の認知度と 家庭での食経験との関連性 —沖縄県の地域性—

② 土曜教養講座

1976年に開講した土曜教養講座は2023年度で48年目を迎えました。

本講座は、主に学内教員・職員からの発案で実施されるもので、沖縄が負った様々な課題の中から時宜に合うテーマで講演会やシンポジウムを開催し、また沖縄大学の地域研究の成果を市民向けに広く発表する場とさせていただきます。

<2023年度の取り組み>

	開催日時	内容	参加者
1	6月10日 (土) 14:00-16:00	【対面・オンライン(ハイブリッド)】第598回土曜教養講座 「非戦への誓い—沖縄戦の『記憶の継承』による共創と教育—」 【司会】 我部 聖(沖縄大学経法商学部経法商学科 准教授) 【講師】 謝花直美(ジャーナリスト/沖縄戦・戦後史研究者) 牛島貞満(沖縄観光コンベンションビューロー沖縄修学旅行アドバイザー/沖縄大学地域研究所特別研究員) 藤原 健(琉球新報客員編集委員/毎日新聞客員編集委員/沖縄大学地域研究所特別研究員)	74名
2	7月22日 (土) 14:00-16:00	【オンライン】第599回土曜教養講座 「琉球弧の軍事要塞化を考える—地元の声よ届け!—」 【司会】 高良沙哉(沖縄大学人文学部福祉文化学科 教授) 【講師】 狩野史江(与那国、イソバの会) 清水早子(『ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会』共同代表) 上原正光(基地いらないチーム石垣・代表)	74名
3	8月18日 (金) 13:30-16:15	【対面・オンライン(ハイブリッド)】第600回土曜教養講座 「協働による福祉とまちづくりのゆくえ—行政と市民団体の協働はどうあるべきか—」 【司会】 島村 聡(沖縄大学人文学部福祉文化学科 教授) 【講師】 川北秀人(IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表) 能島裕介(兵庫県尼崎市こども政策監)	100名

		<p>金城隆一(NPO 法人沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい代表理事)</p> <p>黒田 華(琉球新報社広告事業局ソリューションビジネスグループ)</p>	
4	<p>9月9日 (土) 13:00-17:30</p>	<p>【対面】第 601 回土曜教養講座 国際シンポジウム「沖縄から考える『慰安婦』問題—宮古島『慰安婦』のための碑 15 周年とアジア—」</p> <p>【司会】 [全体進行]宮城 公子(沖縄大学名誉教授) [第2部進行]川満 昭広(インパクト出版会代表)</p> <p>【通訳】 金美恵 キム ミへ(東京大学特任研究員) 李裕珍 イ ユジン(戦争と女性の人権博物館・日本連帯担当)</p> <p>【講師】 金昌祿 キム チャンロク(慶北大学教授) 藤目ゆき(大阪大学教授) 李娜榮 イ ナヨン(正義連 理事長/中央大学教授) 朴貞愛 パク チョンエ(東北亜歴史財団研究委員) 謝花直美(元沖縄タイムス記者) 洪 玗伸 ホン ユンシン(沖縄大学准教授) 高里鈴代(基地軍隊を許さない行動する女たちの会 共同代表) 宋連玉 ソン ヨンオク(青山学院大学名誉教授) 梁鉉娥 ヤン ヒョンア(ソウル大学教授) 上里清美(宮古島で「慰安婦」問題を考える会 共同代表) 山城紀子(フリージャーナリスト) 宮城晴美(沖縄女性史研究者)</p>	72 名
5	<p>17 日(日) 13:30-16:30</p>	<p>【対面・オンライン(ハイブリッド)】第 602 回土曜教養講座 「沖縄の米軍 PFAS 汚染問題を日米市民社会に届けよう」</p> <p>【司会】 宮城 公子(沖縄大学名誉教授)</p> <p>【講師】 パット・エルダー(「ミリタリーポイズンズ」ディレクター) 桜井国俊(沖縄大学名誉教授、沖縄環境ネットワーク世話人) 照屋正史(宜野湾ちゅら水会メンバー、VFP-ROCK Associate Member)</p>	91 名
6	<p>11 月 11 日 (土) 14:00-16:00</p>	<p>【対面】第 603 回土曜教養講座 「那覇市での県立夜間中学開設を考える—『こんばんはⅡ』上映会—」</p> <p>【司会】 見城 慶和(元東京・夜間中学教員)</p> <p>【講師】 盛口 満(沖縄大学人文学部こども文化学科 教授) 新崎康文(夜間中学卒業生) 山本結智(夜間中学校と教育を語る会事務局員) 関本保孝(元東京・夜間中学教員、基礎教育保障学会事務局次長)</p>	60 名

③ 那覇市との連携事業

- ・ 那覇市人材育成支援センターまーいまーい Naha・沖縄大学連携講座

2020年に開館した那覇市人材育成支援センターまーいまーい Naha は、沖縄の観光振興などに携わる人材の育成や、市民の学習・交流活動を支援することを目的に活動しています。人材育成事業では、国際化などの社会情勢に柔軟に対応できる人材の育成を目的に各種講座を開講しており、その一環で本学との連携講座を実施しています。

<2023 年度の取り組み>

	開催日時	内容	参加者
1	2023年 12月6日(水) 18:30-20:00	「異文化を学ぶ！知る！～文化の違いから生じる誤解を招かないために～オーストラリア編」 【講師】 渋谷 百代(沖縄大学 人文学部 国際コミュニケーション学科 教授)	29名
2	2023年 12月13日 (水) 18:30-20:00	「異文化を学ぶ！知る！～文化の違いから生じる誤解を招かないために～台湾編」 【講師】 李 舒陵(沖縄大学 非常勤講師)	38名
3	2023年 12月19日 (火) 18:30-20:00	「異文化を学ぶ！知る！～文化の違いから生じる誤解を招かないために～ベトナム編」 【講師】 アン ニュン(沖縄大学 非常勤講師)	23名
4	2024年 3月5日(火) 18:30-20:00	「グローバル社会における国際コミュニケーション～『国際コミュニケーション』ってなんだろう？」 【講師】 伊藤 丈志(沖縄大学 人文学部 国際コミュニケーション学科 准教授)	23名
5	2024年 3月12日(火) 18:30-20:00	「グローバル社会における国際コミュニケーション～語学力を活かした職業」 【講師】 伊藤 丈志(沖縄大学 人文学部 国際コミュニケーション学科 准教授)	25名
6	2024年 3月19日(火) 18:30-20:00	「グローバル社会における国際コミュニケーション～留学ってしたほうがいいのか？」 【講師】 伊藤 丈志(沖縄大学 人文学部 国際コミュニケーション学科 准教授)	17名

- ・ 那覇市議会との連携事業

2023年、那覇市議会と沖縄大学は、市民に開かれ地域の多様な主体と協働して未来の共創を目指すという共通理念をふまえ、包括的に連携協力を図る協定を結びました。

<2023 年度の取り組み>

本協定に基づき、2023年12月25日(月)、「那覇市の未来共創ワールド・カフェ～学生&議員・教員～」を開催しました。国際コミュニケーション学科1年次ゼミの時間を使い、5つのテーマ(日本語支援、英語教育、国際文化交流、観光、児童福祉)のグループに分かれて、那覇市の抱える問題や改善案などを話し合いました。

④ 近隣自治体との連携事業

・ 子どもの貧困ソーシャルワーク研修事業

那覇市、豊見城市及び糸満市と沖縄大学が協力し、子どもの貧困対策に取り組む支援員や居場所職員等がその職能を習得する研修事業を行いました。

・ 南部広域市町村圏事務組合広域研修事業

沖縄県南部圏域における広域的な政策課題等に取り組む人材を育成する研修事業を行いました。

(4) 「出前講座・体験授業」の実施

沖縄大学では、地域貢献の一環として多様な学習機会の一助となるよう、小学校・中学校・高校への「出前講座・体験授業」の実施をしています。

「出前講座・出前授業」(小学生・中学生・高校生向け講座) 開催講座数：38 講座

	開催日	実施高校	講座名	担当講師
1	5月26日	具志川高校	Verbal and Nonverbal Communication: 見た目はそんなに大事?	末吉綾乃
2	6月9日	首里東高校	目標を達成するには、コツがある	石原端子
3	6月15日	那覇工業高校定時制	「平和」を考える	宮城能彦
4	6月16日	北谷高校	「平和」を考える	宮城能彦
5	6月21日	泊高校 夜間部	「平和」を考える	宮城能彦
6	6月30日	陽明高校	幸せってなんだ?	樋口耕太郎
7	7月6日	沖縄市立島袋小学校	知ってびっくりタバコの真実	山代寛
8	7月12日	北中城高校	18歳までに知っておきたい法学	高良沙哉
9	7月13日	西原高校	緊急避難で考える刑法と倫理	富山侑美
10	7月20日	首里東高校	Verbal and Nonverbal Communication: 見た目はそんなに大事?	末吉綾乃
11	7月25日	宜野座高校	何のために働くの?	宮城能彦
12	7月26日	宜野座高校	アンニョハセヨ?魔法のような韓国語学習法	洪琬伸
13	9月19日	泊高校 午前部	アンニョハセヨ?魔法のような韓国語学習法	洪琬伸
14	9月19日	沖縄水産高校	目標を達成するには、コツがある!	石原端子
15	9月27日	宮古島市立下地中学校	何のために働くの?	宮城能彦
16	9月29日	中部農林高校	障がい者スポーツの世界	中山健二郎
17	9月29日	沖縄水産高校	「働くこと」とは何か ーチーム・ワークを考えるー	島袋隆志
18	10月12日	つくば開成高校	何のために進学するのか	宮城能彦

19	10月20日	嘉手納高校	「性の多様性」ってなんだろう？	吉川麻衣子
20	10月24日	那覇工業高校	「日本的」な働き方・働かせ方って？	石川公彦
21	10月25日	豊見城高校	虐待問題について考える	宮元預羽
22	11月6日	前原高校	ストレスとの上手な付き合い方	名城健二
23	11月6日	中部農林高校	困っている人を支える専門職を知ろう	平野貴大
24	11月14日	うるま市立具志川小学校	沖縄の自然	盛口満
25	11月30日	前原高校	ハッキリンで自分の気持ちを伝えよう	松尾理沙
26	12月6日	宮古工業高校	アンニョハセヨ？ 魔法のような韓国語学習法	洪玠伸
27	12月6日	豊見城高校	幸せってなんだ？	樋口耕太郎
28	12月8日	糸満市立西崎小学校	生活リズム・睡眠・タバコとお酒の害について	山代寛
29	12月13日	北部農林高校 定時制	ストレスとの上手な付き合い方	名城健二
30	12月22日	久米島町立球美中学校	仲良しユガミンを見つけて上手にストマネ	松尾理沙
31	1月10日	沖縄水産高校	何のために働くの？	宮城能彦
32	1月31日	南部商業高校	SST（ソーシャル・スキルズ・トレーニング）を体験しよう	名城健二
33	2月6日	八重山商工高校	仲良しユガミンを見つけて上手にストマネ	松尾理沙
34	2月6日	八重山商工高校	SST（ソーシャル・スキルズ・トレーニング）を体験しよう	名城健二
35	2月7日	八重山商工高校	「働くこと」とは何か ーチーム・ワークを考えるー	島袋隆志
36	2月7日	八重山商工高校	楽しく学ぶための技術入門	宮城能彦
37	2月13日	中部農林高校	目標を達成するには、コツがある！ある！	石原端子
38	3月18日	沖縄水産高校	ヤングケアラーを知ろう	名城健二

(5) 地域住民への図書の貸し出し

地域住民が利用する公共図書館に目的の資料がなく、その資料が沖縄大学図書館にある場合、公共図書館を通じて地域住民への資料の貸し出しを行っています。

2023年実績

	依頼日	依頼館
1	4月19日	那覇市立中央図書館
2	5月12日	那覇市立中央図書館
3	5月25日	沖縄県立図書館
4	7月14日	沖縄県立図書館
5	7月25日	沖縄県立図書館

6	10月4日	護佐丸歴史資料図書館
7	10月25日	宮古島市立図書館
8	12月19日	石垣市立図書館

(6) 学外者の図書館利用

2023年度はコロナ禍も過ぎ、落ち着きを取り戻しつつある状況を鑑み、コロナ以前には実施していた学外者の図書館利用を再開しました。年間を通じて159名の利用がありました。

(7) 講師の派遣

沖縄大学では、教員を自治体等へ委嘱委員、講師として派遣しています。政策形成への寄与、知の還元等により地域社会への貢献を行っています。

2023年度 学外委員・講師等の派遣数

学科	教員数	派遣教員数	単発派遣	中・長期派遣	合計
経法商学科	23	11	2	24	26
国際コミュニケーション学科	11	5	2	5	7
福祉文化学科	16	7	29	15	44
こども文化学科	9	4	11	4	15
管理栄養学科(助手)	11(5)	11	7	14	21
その他(職員等)		6	4	5	9
合計	75	44	55	67	122

※単発派遣・・・1回のみ講師派遣

※中・長期派遣・・・1年未満～1年以上の派遣